会社名 報告担当者 報告年月 年 月 日

当社の前月の起こりうる危険有害要因は、		
熱中症の防止	7	ごす。
危険有害要因を排除するために、以下の防止策を設	定し、監視しました。	
監視結果は以下の通りとなりました。		
危険有害要因を		上できなかった場合
□ 防止できませんでし		E事例
	<u> </u>	すれば防止できたか
	今後	後、どのようにしますか?

工種	起こりうる危険有害要因	防止策	選定した理由
	熱中症になる		外気温が高く、熱中症の リスクが高くなるため

会社名	報告担当者	報告年月	年	月	田

当社の前月の起こりうる危険有害要因は、

	交通事故の防止		です。
危険有害	『要因を排除するため』	こ、以下の防止策を設定し、監視しました。	
	ゆとりを持って車を運転	気する	
監視結界	具は以下の通りとなりま	こした。	
	危険有害要因を	口 防止できました。	防止できなかった場合
		□ 防止できませんでした。□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	発生事例 ミラーの接触
			どうすれば防止できたか
			車の停止をさせる

今後、どのようにしますか?

<u>危険有害要因特定表</u>

工種	起こりうる危険有害要因	防止策	選定した理由
	熱中症の防止	こまめな休憩と、水分補給 熱中症対策用品の活用	

会社名	報告担当者	報告年月	年	月	日	

当社の前月の起こりうる危険有害要因は、	_
熱中症にかかってしまう	です。
危険有害要因を排除するために、以下の防止策を設定し、監視しました。	
こまめな水分補給、休憩をとる	
監視結果は以下の通りとなりました。	
危険有害要因を	防止できなかった場合 発生事例
□ 防止できませんでした。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
	どうすれば防止できたか
	今後、どのようにしますか?

工種	起こりうる危険有害要因	防止策	選定した理由	
	感電災害	充電部を露出させない	安全通信を受けて	
		濡れた手で電気器具を触らない		

会社名	報告担当者	報告年月	年	月	日	

当社の前	万月の起こりうる危険有	害要因は、		1
				」です。
危険有害	『要因を排除するため! 』	こ、以下の防止策を設定し、監視し	しました。	1
L				
監視結果	具は以下の通りとなりま	した。		
	危険有害要因を	ロ 防止できました。		防止できなかった場合
		□ 防止できませんでした。□□□□□		発生事例 -
				どうすれば防止できたか
				今後、どのようにしますか?

<u> 危険有害要因特定表</u>

工種	起こりうる危険有害要因	防止策	選定した理由
	引きたてのラインを歩行者や車両に踏まれる		夏で気温が高く ラインが固まりにくいため